



横浜市立日野南中学校

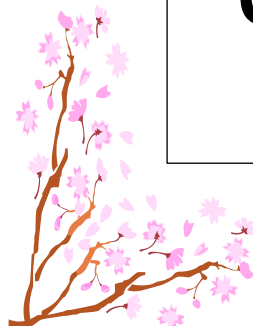
令和6年3月4日

令和5年度 ひのみだより 3月号



日野南中学校ホームページ

横浜市港南区港南台 4-37-1 TEL045(832)4726



多様性を認め合う力

校長 松本 麻理子

日野南中学校の教育目標は、「いのち ふれあい たくましさ」です。

重点目標として、前年度に定めた「自ら判断する力」「コミュニケーション能力」に加えて、今年度から「多様性を認め合う力」を加えました。集団生活は一人ひとり違う考えや行動をする人がいて成り立っていますし、学校で生活する誰もが、安心して豊かに、そして生き生きと、楽しく生活するためには、自分とは違う考えや行動をする人が周りにはたくさんいることに気づき尊重しあえることが大切です。嬉しいことに日野南中ではそのような風土ができてつつあります。互いの個性を認め合い、お互いを認め合った上で、多くの人たちと交流していく姿も見られ、開室3年目を迎えた特別支援教室「ひまわり教室」も充実し、日野南中の子どもたちは、この1年間大きな成長をしてくれたと実感しています。現在の社会情勢を鑑み、この資質・能力の育成により、子どもたちが社会に出た時に、自国のことだけでなく、世界の人々に対しても同じ「地球人」として、お互いの考えや立場、個性を認め合った上で、互いに高めあえ、多くの人たちと交流して活躍してくれることを願っています。

今年度の1年生から、それらの力をつけるために、3年間を通して、総合学習では「平和学習」を柱として教育課程を編成し、その集大成として2年後の修学旅行の行き先を沖縄へと変更しました。自然体験学習として「できる」を増やし自己肯定感を高め、達成感が味わえる「スキー教室」に1年生から変更し、「キャリア教育」では、地域の事業所の方々にご協力いただき、2年生から「職場体験」等を再開しました。

この1年間、誰もが安心して楽しく生き生きと生活できる日野南中学校を目指し、今年度から設立した地域学校協働活動本部「ひのみスクールサポート」の皆様のご支援をいただきながら、地域、保護者、学校職員、子どもたちが一つになり、協働して活動することができました。学校として至らぬ点も多かったと思いますが、「子どもたちの笑顔のために」を合言葉に多くの方々に支えられ、パワーをいただきました。この場を借りまして厚く御礼申し上げます。

3月12日には、日野南中学校体育館にて第45回卒業証書授与式が行われる予定です。今年の6月から来年の2月まで体育館改修工事が施工される予定ですので、開校より45年間、お世話になった体育館での最後の卒業式になります。

卒業生の3年間の成長に感謝の気持ちを伝えるとともに、長い間、日野南中学校の活動を支えてくれた体育館への感謝の思いも抱きながら卒業式を迎えたいと思います。



【書初め展 金賞作品】

校内書初め展で特に優れた作品に「金賞」が贈られ、1階職員室前ホールに展示されました。



【2月の行事】



PTAより差し入れもいただきました



【令和5年度 第4回 学校運営協議会】

2月8日(木)に、今年度第4回学校運営協議会が開かれました。今回は、次ページにある学校評価報告書について検討され、委員の皆様より、今年度の活動についてのご意見をいただきました。委員の皆様からは、「年々学校の雰囲気がよくなっているように感じる」「生徒の授業評価で肯定的な意見が圧倒的に多いことについて素晴らしいことだと思う」とのご意見をいただきました。また、いじめを防止するための取組について、生徒のアンケートに数人から否定的な回答がみられました。引き続きの充実が求められることを確認しました。

また、地域学校協働本部「ひのみスクールサポート」の今年度の活動報告がありました。今年度は活動初年度でしたが、①日野南地域でのお祭りの参加による広報活動、②2年生対象高齢者理解教室講師紹介、③1年生対象職業講話講師紹介、④2年生職場体験の体験先企業の紹介、⑤部活動指導員、特別支援教育支援員の紹介と、多岐に渡って学校を支えていただきました。今後も学校として地域とつながり、生徒が様々な体験活動ができるよう、ネットワークを広げていきたいと思います。

地域学校協働本部 ～ひのみスクールサポート～

「地域学校協働本部」は、学校のニーズに応じてボランティアを集めたり、地域からの要望を調整して学校に伝えたりします。また、地域住民や団体が参画してネットワークを形成することにより、地域を活性化させます。そのネットワークの中心が「地域学校協働本部」です。

日野南中学校では今年度、研修を受け、資格を持つ学校・地域コーディネーター3名を中心に「地域学校協働本部」を立ち上げました。



【令和5年度 学校評価報告書】

令和5年度の学校評価にご協力いただき、ありがとうございました。次のようにご報告させていただくとともに、来年度の学校運営に生かしてまいります。

重点取組分野	令和5年度		総括
	具体的取組	自己評価結果	
授業改善	①1学年数・理・英、1・3年保健体育での少人数授業(T.T)を実施し、効果的な指導方法の改善を目指す。 ②生徒の学力を適正に評価する材の研究と主体的な学びに繋がる評価を目指す。 ③ICT支援員と連携し、ICTを活用した深い学びと一人ひとりを大切にしたい学びを推進する。	①TTや少人数の授業実践をして、指導方法の改善をすることができた。②研修や教科会での情報交換、授業実践をしていくなかで、主体的な学びにつながる学習評価の質を深めることができた。③各教科ICTを活用した授業実践をさらに行うことができた。	A
道徳教育	①考え議論する「特別の教科道徳」を実施する。 ②気づきや思考を重視した人権意識を育むため、人権作文や人権標語コンクールに参加する。 ③学校行事や生徒会活動を通じて互いの思いを尊重し、自ら判断し表現できる生徒を育成する。	①授業での発問の仕方を工夫することで、より話し合い活動が活発に行われるようになり、考え議論する道徳を実施することができた。②人権作文を読み、考えを深める授業を実施することができた。③体育祭や合唱コンクールを通じて、年度当初の計画通り他者を認め、受け入れる心を養うことができた。	B
健康教育	①保健体育で基礎体力づくりを導入し、年間を通して心身とも鍛えていく。 ②部活動ガイドラインに基づく部活動を充実させる。 ③中学校給食を契機にした食育を推進する。	①例年通り授業前にグラウンドや体育館をランニングし、基礎体力作りを行った。主に心肺持久力の維持を目的として実施している。今後も年間を通して継続していく。③掲示物や便り、また1年生対象に「食育講座」を行い、食に対する興味関心を高めることができた。	B
地域連携	①学校運営協議会と連携した地域学校協働活動本部を設置し、地域の材を生かした教育の推進を図る。 ②生徒の様子や学校の取組を学校だよりやWEBページ等で保護者や地域に向けて発信する。 ③感染症予防を徹底した文化・スポーツクラブ等の活動を支援し、生涯学習を推進する。	①地域学校協働本部を設置し、職業講話や職場体験ではコーディネーターと連携して地域と学校の協働を推進することができた。 ②学校だよりやウェブページで情報を発信し、地域の会合等で生徒の様子や学校の取組を発信することができた。 ③利用団体と連携しながら地域の生涯学習を推進することができた。	A
いじめへの対応	①いじめ防止対策委員会と教育課程委員会が連携し、いじめ防止基本方針の達成状況を確認する。 ②学校運営協議会を活用し、学校が抱える課題を解決する方法を検討する。 ③いじめ防止の取組状況の情報発信と保護者や地域と連携した見守りを強化する。	①いじめ防止基本方針を現状に即したものに目直し、基本方針に基づいて認知方針や対応を検討し、情報の共有を行った。 ②学校運営協議会においていじめ防止基本方針の確認と現状について意見交換を行った。 ③未然防止・早期発見のためのアンケートと教育相談を実施した。生徒が安心して学校生活が送れるように、家庭との連携をさらに深めていく必要がある。	B
人材育成・組織運営(働き方)	①計画的な研修や授業研究を通して、学習指導や生徒指導等の実践力の向上を目指す。 ②ミドルリーダーの人材育成を目指した組織の構築をし、業務内容の精選と業務時間の確保をする。 ③教育課程委員会の働き方改革担当を中心に働きやすい職場づくりを推進する。	①メンターチームメンバーを中心に生徒支援の観点から学習指導や学級づくりの研修を行い、実践力向上を図った。 ②ミドルリーダーの人材育成を目指した組織の構築と業務内容の精選と業務時間確保を意識的に行った。 ③教育課程委員会の働き方改革担当を中心に意識改革や環境整備を行い、効果をあげた。	B
特別支援教育	①校内ハートフル実施校として、特別支援教室を核とした学校全体で個別最適な学びの支援と充実を図る。 ②指導と評価の一体化を図り、ニーズに応じた特別支援教室の充実を図る。 ③支援を必要とする生徒に対する外部連携の推進を図る。	①校内ハートフル支援員と協働し、支援を必要とする生徒のアセスメントを行い、個々のニーズに沿った学びの支援と充実を推進した。②職員間の連携を深め特別支援教室における指導と評価の一体化を推進することができた。③支援を必要とする生徒について外部機関とも連携し生徒理解を深め、個に応じた支援を行った。	A
生徒指導	①教育相談を年に3回設定し、日頃から声掛けをするなど生徒ひとり一人に寄り添った生徒指導を行い、組織的に対応する。②人権教育を基盤とした生徒指導を推進する。③学校のきまりなど現在の社会情勢に沿うものか検討するとともに、生徒が自ら考え、話し合う機会も設定し見直しを図る。	①教育相談やアンケートの実施をし、教師が知らなかった情報を得るのに役立った。いじめ認知の件数は決して少なくないので、教育相談の機会に限らず、日頃からのキャッチを今後も確実に行うよう心掛ける。②多様性を含めた人権教育を基盤とし、生徒一人ひとりに寄り添った対応ができた。今後も継続していきたい。③きまりなどについて職員間でも様々な意見がある中で、本校の今までの流れを大切に、できる限り生徒が関わりのながら話し合いを進められるよう、他の指導部とも連携を図っていく必要がある。	B
平和教育	①3年間を見通した平和教育を展開する。 ②令和5年度入学生より1年次で平和学習、2年次で平和校外学習、3年次で平和学習集大成としての修学旅行を実施する。③多様性を認め合う力の育成の視点も取り入れた平和学習を行う。	①1年次では実生活にある身近な平和問題について探究活動を行い、2年次3年次で過去の戦争や原水爆事故について知識を習得したうえで、これからの未来の平和について探究活動を行う計画を立てた。 ②①に基づいた行事を計画中である。 ③1年次の平和学習において、それぞれの生徒がいじめやジェンダー問題など様々な課題を立てて探究活動を行い、それを発表して共有させたことで、多様性を認め合う力を習得できたと考えられる。	B
ブロック内評価後の気付き	小中一貫教育推進ブロックでは、小中それぞれの授業を教科ごとに参観をして、その後、小中の職員での意見交換をすることができた。また、コロナなどの感染症にも、気を付けながらも、児童生徒交流日では、小学生6年生が中学校の授業を見学して、さらに、部活動の見学や体験をして、児童生徒の交流をすることができた。吹奏楽部などが小学校の行事に参加したり、個別支援学級の合同学芸会を実施したりするなど、児童生徒の交流をもつことで、9年間育てたい資質能力の育成を進めることができた。ブロック専任会では、地区懇談会を実施して、ブロックの地域の方々と情報交換することができた。		
学校関係者評価	学校の雰囲気がいよよくなったと感じる。生徒も学校の職員も皆、生き生きと表情も明るく楽しそうに学校生活を送っている姿がみられる。各行事も生徒が熱心に取り組んでいる。合唱コンクールも学生生活で充実した時間を過ごさせていた。授業にも工夫されている様子を感じられる。個別支援級の授業の様子も、ICTを活用してよかった。総合的な学習の時間で、地域連携にも積極的に取り組まれている。特に、今年度から地域学校協働活動本部(ひのみスクールサポート)が発足し、職業講話、職場体験、高齢者理解などの講師や部活動指導員、個別支援学級の支援員の紹介の支援を受け、地域の材を活用した教育活動ができている。		
中期取組目標振り返り	今年度から立ち上げた地域学校協働活動本部「ひのみスクールサポート」の方々にご支援いただき、総合学習の講師や部活動指導員、特別支援教育支援員、職場体験の事業所等を紹介していただくなど地域の材を活用し、生徒も地域で活躍する場を増やすことができた。1年生から3年間を見通した「平和教育」を柱として行事の見直しも図った。校内ハートフル実践校としてチーム学校で取り組める特別支援教室「ひまわり教室」の充実が図れた。また、重点目標に「多様性を認め合う力」を加え、誰もが安心して生き生き活動できる環境整備やICTの活用、主体的・対話的で深い学びを実現する教育活動を全職員で展開できるよう努めた。		

3月 予定表

		1年	2年	3年		完全下校
1	金			特別時程		15:55
2	土					
3	日					
4	月	①3送会 専門委員会	①3送会 専門委員会	特別時程		17:45
5	火			特別時程		14:55
6	水	評議会	評議会	特別時程		17:15
7	木			特別時程		14:55
8	金			特別時程		17:45
9	土					
10	日					
11	月	昼食後 一般生徒下校 放課後 式準備		特別時程	12:55~13:10 昼食 13:15~13:20 帰りの学活 部活動はなし 式準備生徒のみ残留	17:15
12	火	自宅学習	代表生徒のみ参列 他自宅学習	卒業証書授与式	部活動 朝 午後なし	
13	水	球技大会				17:15
14	木					17:45
15	金		球技大会			14:55
16	土					
17	日					
18	月	球技大会予備日				14:55
19	火					17:15
20	水					
21	木		球技大会予備日			14:55
22	金	⑤大掃除	⑤大掃除			17:15
23	土					
24	日					
25	月	①連絡票配付 ②修了式 離任式 帰り学活含む ③教科相談 相談のない生徒はすぐ下校 11:20下校完了	①連絡票配付 ②修了式 離任式 帰り学活含む ③教科相談 相談のない生徒はすぐ下校 11:20下校完了			11:30
26	火					
27	水					
28	木					
29	金					
30	土					
31	日					

～4月の主な予定～

○4月8日(月) 始業式・入学式

○4月16日(火) 保護者会・行事説明会

○4月25日(木) 横浜市学力・学習状況調査

○4月26日(金) 授業参観、
部活動・教育課程説明会

「すぐーる」の登録をお願いします!

Cocoo に代わり、導入いたします。

1・2年生には、3月13日に登録用紙を、お子様を通じて配付いたしますので、3月21日までに登録をお願いいたします。3月22日にテスト配信をいたします。